

### 子育て支援について



河原崎 恵士

**問** 産前産後のサポート体制についての考え

**答** 妊娠期から子育て期にわたるまでの様々なニーズに対して総合的に相談支援を提供するワンストップ拠点として「子育て世代包括支援センター」の位置づけが法的になされたことをうけ、御前崎市においても産前産後の必要な支援やサービスをマネジメントする専門職の配置を行い、切れ目のない支援の充実に努めていきます。

**問** 高校生への通学に対する助成制度創設を含めた支援策についての検討は

**答** 義務教育課程において第一小学校の合戸地区児童に対して定期乗車券の交付、他校におけるスクールバス運行は実施していませんが、現時点では高校生を対象とした施策は検討していません。

**問** 給付型奨学金制度の創設についての取り組みは

**答** 国の方向性の中で29年度は基礎調査をして、30年度に組織を立ち上げたいと思います。

### 生活交通の確保について 学校と地域の連携・協働について



若杉 泰彦

**問** 御前崎市は地域公共交通が希薄な地域のため、自家用車が発達している。しかし、免許返納などにより、買い物や通院に困る市民が増加している。これからの地域公共交通をどのように考えているか

**答** 今後、将来を見据えた公共交通の計画策定は喫緊の課題です。来年度は計画策定に向けて基礎調査を行ってまいります。

**問** 学校の抱える課題を家庭や地域、行政で考えて解決に取り組んでいるが、その具体的な方法は

**答** 市内の園・小学校・中学校すべてをコミュニケーションスクールとして指定し、浜岡地区・御前崎地区に分けて、園長・校長・PTA会長・地域代表者・有識者及び池新田高校も参加して、各地区で年6回熱心に課題解決に向け協議しています。

**問** 市が実施してきた各種の交通弱者の対策は市全体のネットワーク整備になっていない。国の制度を活用し、総合的に考えたらどうか

**答** 市が実施してきた各種の交通弱者の対策は市全体のネットワーク整備になっていない。国の制度を活用し、総合的に考えたらどうか



スクラムグッドマナー運動 (あいさつ運動)

**答** 市独自の制度は原資が税金で賄われることから創設は慎重にしなければならぬと考え、現時点では検討していません。

**問** スクラムスクールの実施して良かった点と今後の課題は

**答** 運営協議会の中で保護者の発言が増えてきたこと、挨拶運動をPTA会長さん達が保育園、学校で進めてくれていることです。また、この活動を地域に広め、共に教育を進めることを考えたいと思います。



### みなとオアシスについて 地方創生事業の現状について



大澤 満

**問** みなとオアシスの認定区域は内陸フロントエリア推進区域内にあり、認定オアシス区域にある海

**答** 区域は地域振興に資する施設であり、交流人口を増やす県指定の内陸フロントエリア推進区域内にあり、認定オアシス認定区域として、賑わいの創出を目指します。各施設の整備が必要となれば、みなとオアシスと連携して取り組んでいきます。

**問** 28年度に灯台周辺整備計画を策定しているが、日々、観光客が訪れている現状から、公衆トイレ整備の早期着手が求めら

**答** 区域は地域振興に資する施設であり、交流人口を増やす県指定の内陸フロントエリア推進区域内にあり、認定オアシス認定区域として、賑わいの創出を目指します。各施設の整備が必要となれば、みなとオアシスと連携して取り組んでいきます。



御前崎灯台

で位置や仕様の変更も考えられますので、今後、関係者とよく検討していきたいと考えます。

**問** 地域医療充実のため整備をしている家庭医療センター進捗状況は

**答** 既に建設工事の準備に入っており、平成29年の秋頃に完成する予定です。

### 道徳の教科について



大澤 博克

**問** 小中学校の道徳教育は、平成30年以降「特別の教科・道徳」として、教科に格上げされることになるが、どのような教育内容になるのか

**答** 特別の教科・道徳の目標は、「より良く生きるための基盤となる道徳性を養うため、道徳的価値についての理解を基に、

自己を見つめ、物事を多面的・多角的に考え、自己の生き方についての考えを深める学習を通して、道徳的な判断力、心情、実践意欲と態度を育てる」とされています。

A 主として自分自身に関すること  
B 主として人との関わり

自己を見つめ、物事を多面的・多角的に考え、自己の生き方についての考えを深める学習を通して、道徳的な判断力、心情、実践意欲と態度を育てる」とされています。

C 主として集団や社会との関わりに関すること  
D 主として生命や自然、崇高なものとの関わりに関すること

## 委員会報告

### 一般会計予算決算審査特別委員会

平成28年12月13日に委員会を開催し、付託された議案について、関係部課長から細部にわたり内容の説明を求め、慎重に審議した結果、原案のとおり可決すべきものとして決定しました。

なお、執行部に対し、次のような意見書を提出しました。

議案第85号 平成28年度御前崎市一般会計予算の補正(第2号)について

【こども未来課】

債務負担行為補正における「子育て応援手当システム構築業務委託料」の限度額2,790万円は、委員会として審議するにあたり比較検討すべき資料がないため、委員会に対しその正当性について、再度提出を求める。

### 原子力対策特別委員会

平成28年12月14日に委員会を開催しました。内容は次のとおりです。

中部電力(株)からの浜岡原子力発電所の状況について  
(1) 発電所の力量向上に向けた取り組み(運転員) 発電所の全プラントの停止以降、発電部の運転員の技術向上のために、次のような力量向上に向けた取り組みに努めています。

- ① 他電力会社運転員との技術交流及び若手運転員の技能コンテストの実施
- ② 火力発電所及び海外原子力発電所への派遣
- ③ 安全性向上対策を反映したシミュレータ訓練

(2) 地域の皆様とのコミュニケーションの状況について

東日本大震災以降、地域の皆様に信頼いただける発電所を目指し、次のような取り組みを実施しています。

- ① 発電所視察(見学会)
- ② 発電所モニター
- ③ 訪問対話
- ④ 発電所キャラバン隊
- ⑤ 意見交換会
- ⑥ 次世代層への教育支援活動

その他、公民館祭りや地域防災訓練への参加、HPなどによる情報発信、アンケート調査の実施を行っています。

以上、中部電力(株)から報告を受けました。